

# ひょうご安心ブランド農産物生産計画書

## 1 申請生産集団

認定番号	生産集団名*	代表者職氏名	所在地
問い合わせ先	所属・部署名	担当者職氏名	連絡先TEL/FAX

\* 新規申請の場合は、生産集団の規約(法人の場合は定款の写し)や組織等の概要、活動状況がわかるものを添付すること

## 2 計画概要等

品目名	生産予定面積(a)	生産者数(人)	前回認証の生産計画からの変更点

## 3 確認責任者\*

所属・部署名	所在地	確認責任者職氏名	連絡先TEL/FAX

\* 確認責任者の役割は、特別栽培農産物に係る表示ガイドライン第3の定義のとおりとする

## 4 確認責任者による認証要件確認内容

品目名	栽培管理記録の管理状況・確認時期	出荷記録の管理状況* (トレーサビリティ対応)	講習会等の開催状況 (日付・場所・参加者等)

\* 出荷記録の管理状況は、兵庫県版食品トレーサビリティガイドライン(ステップ2:ロット管理の実施)に基づく取引情報が整備されていること  
何を、いつ、どこへ、どれだけ取引したのかの情報を記録・保存 生産場所、収穫・出荷期日等の同一条件で設定したロット単位で分別管理

ひょうご安心ブランド農産物生産計画書

5 生産者台帳

品目名	生産者		栽培責任者 <sup>*1</sup>	ほ場所在地 <sup>*2</sup> (または市町・地区名、筆数)	栽培面積 (a)	周囲からの農薬飛来 に対する措置等 <sup>*3</sup>
	氏名					
品目計						

\*1 栽培責任者の役割は、特別栽培農産物に係る表示ガイドライン第3の定義のとおりとする  
 \*2 ほ場周辺図については栽培記録とともに確認責任者が管理確認すること  
 \*3 措置状況は「周縁部に幅 mの緩衝帯を設置」「団地化による他品目等との混在回避」「施設栽培により遮断」「看板等を設置し注意喚起」等を記載すること  
 \*4 3年間に作付け予定のほ場を記入してもかまいません

## ひょうご安心ブランド農産物生産計画書

### 6 作型<sup>\*1</sup>

品目名 (品種名 <sup>*2</sup> )	4月 <sup>*3</sup>			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

\*1 施設栽培等で、同一品目・品種を連続して作付する場合や他品目との輪作を行う場合はその品目を含め、その代表的な作型を記載すること

\*2 品種名を記載すること

\*3 主要作業のうち、播種を、定植を、収穫期間をで表示すること

### 7 出荷（販売）計画

品目名	出荷（販売）先	出荷（販売）予定数量(kg)	出荷（販売）時期 <sup>*1</sup>
品目計 <sup>*2</sup>			

\*1 出荷時期は、「月～月」や「周年出荷」などを記載すること

\*2 品目毎に出荷予定数量の合計をいれること

### 8 表示方法の概要

品目名	農産物への認証マークの表示方法 <sup>*1</sup>	認証マークの加工食品での表示 <sup>*2</sup>		認証マーク及び認証マークを印刷済み資材の管理状況（加工食品での表示を含む）	不適合品の処理方法
		有無	表示方法（有の場合）		

\*1 表示方法は、「出荷袋に認証マークを貼付する」「認証マークを印刷済みの出荷箱、出荷袋、出荷帯で表示する」などを記載すること

\*2 加工食品への認証マークの貼付は、主たる原料としてひょうご安心ブランド農産物を使用し、「ひょうご安心ブランドの（農産物名）を使用している」旨も合わせて表示する場合に限る。

# ひょうご安心ブランド農産物生産計画書

## 1 土づくり技術の導入計画

生産方式等別 <sup>*2</sup> :					
施用時期 (月旬)	導入技術名 <sup>*1</sup>	資材名	使用量 (kg/10a)	入手方法	備考

\*1 導入技術名は以下から選択して番号を記入すること

たい肥等有機質資材施用 / 緑肥作物利用

\*2 連続または周年栽培の場合は代表的な作型に基づき記載、また、栽培時期や方法により生産方式が違ふ場合は別々の生産方式として記載（以下同様）

## 2 化学肥料低減技術の導入計画

<地域慣行<sup>\*1</sup>の施肥体系>

<導入計画による施肥体系>

生産方式等別:

施用時期 (月旬)	肥料の名称 <sup>*2</sup>			使用量 (kg/10a)	窒素成分量 <sup>*2</sup> (kg/10a) (有機由来)	導入技術名 <sup>*3</sup>	肥料の名称 <sup>*2</sup>			使用量 (kg/10a)	窒素成分量 <sup>*2</sup> (kg/10a) (有機由来)	備考 <sup>*4</sup>
	N	P	K				N	P	K			
	(有機N);	/	/				(有機N);	/	/			
	計						計					節減割合 ( %減)

\*1 兵庫県の地域慣行レベルとして確認されている場合は窒素成分量及び有機由来窒素成分量の合計値のみの記入とすることができる

\*2 有機質肥料の場合は、有機Nの割合、有機由来の窒素成分量 (kg/10a) を下段に ( ) 書きで記載すること  
 なお、新たに使用する肥料については、有機由来の窒素成分の割合や原材料がわかる資料を添付すること

\*3 導入技術名は以下から選択して番号を記入すること

局所施用 / 肥効調節型肥料施用 / 有機質肥料施用 / その他 ( その作物特有の技術に限る )

\*4 窒素・燐酸・カリの全てにおいて、有機質100%の肥料を使用する場合は、その旨を備考欄に記載すること

ひょうご安心ブランド農産物生産計画書

3 化学合成農薬低減技術の導入計画

<地域慣行<sup>\*1</sup>の防除体系> <導入計画による防除体系> 生産方式等別：

使用時期 (月旬)	対象病虫害 雑草名	使用農薬名	節減対象 農薬成分 使用回数	導入技術名 <sup>*2</sup>	使用農薬名	節減対象 農薬成分 使用回数	備考
		回数計			回数計		節減割合 ( %減 )

\* 1 兵庫県の地域慣行レベルとして確認されている場合は、回数計のみの記入とすることができる

\* 2 導入技術名は下記から選択して番号を記入すること

温湯種子消毒 / 機械除草 / 除草用動物利用 / 生物農薬利用 / 対抗植物利用 / 抵抗性品種栽培・台木利用 / 天然物質由来農薬利用 / 土壌還元消毒 / 熱利用土壌消毒 / 光利用 / 被覆栽培 / フェロモン剤利用 / マルチ栽培 / その他（その作物特有の技術に限る）